

2018 関西啄木祭へのおさそい



あたら あす きた しん
新しき明日の来るを信ずといふ

じぶん ことば
自分の言葉に

うそ
嘘はなけれど——



啄木の詩や短歌に親しみ 時代閉塞の今を生きる糧に！

石川啄木が二十六歳でなくなつて百六年。啄木の短歌はかわることなく多くの国民から愛唱されています。啄木短歌の魅力とは、その現代性とは何か——一緒に学び、考えましょう。

2018 関西啄木祭について

○主催 2018 関西啄木祭実行委員会(代表 田中礼・京大名誉教授)

○日時 二〇一八年六月二四日(日)午後一時開場 一時三〇分開会

○場所 大阪国労会館三階大会議室(JR環状線天満駅から徒歩五分)

○参加費 五百円(資料代)

○協賛団体

新日本歌人協会(京都・高槻・千里・あい川・大阪・淀川・京阪守口・京阪北・うたの坂・兵庫・葎笛 各支部) 大阪文化団体連合会 国際啄木学会関西支部 啄木を学ぶ会 民主文学会なごわ支部 新俳句人連盟大阪支部 あかつき川柳会 大阪詩人会議 神戸詩人会議 新興吟詠会大阪支部 国民救援会大阪府本部 治安維持法同盟大阪府本部 菅野須賀子を顕彰し名誉回復を求める会 男声合唱団扇 大阪山宣会 民主書道研究会・書の広場

プログラム

○講演 田中 礼氏

「今を生きる啄木——閉塞に立ち向かうもの——」

(講師の田中礼氏は京大名誉教授・日本ホイトマン協会会長)

○報告 啄木百首選の結果 「私の啄木」など

○歌唱 啄木短歌から 歌手・千秋昌弘さん(男声合唱団扇団長)

ピアノ・森二三さん

○質疑応答

